

長野県産業振興プラン～テクノロジーを活用した「世界に伍する産業」の創出・振興～（仮称・案）

策定の趣旨等

- ◆ **趣旨**
県内産業の稼ぐ力の向上に向けて、目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する。
- ◆ **位置付け**
県政運営の基本となる長野県総合5か年計画の実現を産業振興の面から支えるものとして位置付ける。
- ◆ **計画期間** 2023年度から2027年度までの5年間
- ◆ **計画の充実**
民間や大学の知見を取り入れながら計画の充実を図るため、中小企業振興審議会において進捗状況の報告・審議を行い、その内容を踏まえ取組の見直しを行っていく。

目指すべき姿と基本方針

- ◆ **目指すべき姿**
グローバルな視点で社会の変化に柔軟に対応しながら産業イノベーションの創出に取組む企業の集積
- ◆ **基本方針**
I グローバル競争が激化する中、新しい価値を生み出し発展していけるよう、産学官金の共創による企業の競争力強化や人材育成・確保、新産業創出、海外展開等を通じ、世界で稼げる・世界で通用する産業の創出・振興を図る。また、これまで特に注力してきた産業分野（健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通、食品、IT）については、今後も本県の強みを生かした発展が期待できることから、継続して支援を行っていく。
II "DX" "GX" "LX"といった社会や価値観の変化を「稼ぐ力」の向上に向けた原動力と捉え、重点支援を通じて、地域の資源活用や課題解決と組み合わせた事業展開を図るとともに、企業がこれらの変化に柔軟に対応できるよう支援する。

DX：デジタルトランスフォーメーション
GX：グリーントランスフォーメーション（生活者の多様な幸せと日常を支えることを目的とした生活サービスの変革 2022.7.19 一般社団法人日本経済団体連合会提唱）
LX：ライフ・サービス・トランスフォーメーション

県産業の課題や特徴

- ◆ **課題** (構造的課題)
 - ・「稼ぐ力」の中長期的な減少傾向
製造業の付加価値額は2000年の2.7兆円をピークに中長期的には減少傾向
 - ・産業の担い手・人材の不足
生産年齢人口は2035年に100万人を下回る
 - ・企業・人・設備・業態の新陳代謝が進んでいない
会社開業率が低水準（全国4.7%、長野県2.9%）
 - ・海外状況の影響を受けやすい
下請型・受託加工型企業が多い
県内総生産の約3割を製造業が占める
製造品出荷額の66%が加工組立型（全国2位）
- (情勢変化等による課題)
 - ・人材獲得競争の激化
 - ・産業構造の変化（EVシフト等）や多様化する顧客ニーズへの対応
 - ・サプライチェーンの見直し
 - ・ゼロカーボン、エシカル、SDGs等への対応
- ◆ **長野県の特徴**
 - ・加工組立型産業に特化した産業構造
特に軽量小型の部品製造が盛ん
 - ・豊かな自然環境と地域資源
 - ・都市部との近接性・暮らしやすさ・健康長寿
- ◆ **現行プランの中間評価**
 - ・各種取組により下請型・受託開発型から提案型・研究開発型への転換促進や、成長期待分野への参画企業の増加など一定の成果があった。
提案型・研究開発型企業の割合60.5%→65.5%
医療機器開発PJ参画企業2社→19社、関連売上0→7,600万円 航空宇宙産業に取組む企業57社→86社
 - ・一方で、米中貿易摩擦やコロナ禍の影響を受け、製造業の従業者一人当たりの付加価値額は目標値には達しない。

県内製造業（従業員4人以上）の付加価値額 (兆円)

本県の年齢区分別の人口推移 (千人)

製造品出荷額等の構成比 (従業者4人以上)

イノベーションによる新しい価値の創出

「稼ぐ力」向上の原動力

DX	GX	LX・価値観の変化
AI、IoT、センサー等	省エネ・再エネ、EV・FCV等	メディカル、ヘルスケア、コト消費等
デジタル化への対応	温室効果ガスの削減	SDGs・ESGダイバーシティ働き方改革

変化を取り入れ新たな事業展開

変化に対応し着実に事業継続

数値は検討中
(長野県総合5か年計画の目標と整合させます)

目標値 労働生産性 2019年比+0% (国の経済成長率の目標値や県の人口推計などから算出)

取組

重点施策

世界で稼げる・世界で通用する産業の創出・振興に向けて県内企業における産業イノベーション創出活動を促進

1. 新たな価値の創出と産業のDXの推進
2. デジタル人材・高度人材の育成・確保
3. 本社機能や研究開発拠点等の誘致とスタートアップ育成
4. 海外展開を見据えた持続可能な経営への展開

プロジェクト

長野県の特徴を生かしつつ、世界的に市場の拡大が予想されるDX、GX、LX分野の技術・製品の創出を重点支援

1. 様々な産業分野×デジタルによる新産業創出PJ
2. 循環型社会構築に向けた新産業創出PJ
3. 電動モビリティ関連産業創出PJ
4. フードテック関連産業創出PJ
5. 県民の健康と快適な環境での生活を維持する新製品・サービスの創出PJ
6. 誰もが在宅で適切な治療等を受けられる「スマート在宅医療システム」の社会実装PJ
7. 健康機能や地域資源等を活用した新商品開発支援PJ
8. 地場産品を通じたプレミアムな価値提供PJ

本プランに基づき実施する計画等 航空機産業振興ビジョン、医療機器産業振興ビジョン、食品製造業振興ビジョン

関連計画等 信州ITバレー構想、信州ワインバレー構想、長野県産業人材育成プラン2.0、長野県就業促進働き方改革基本方針、長野県営業戦略、長野県ゼロカーボン戦略